

小学校の体育授業における教師の自己評価

庭木守彦・坂下玲子・黒木未和*

A Study of Teacher Self-Evaluation for Physical Education at Elementary School

Morihiko NIWAKI, Reiko SAKASHITA and Miwa KUROKI*

(Received May 23, 1994)

The first aim of this study is to examine the factors which are important in determining self-evaluation among P. E. teachers at elementary school. Secondly the paper identifies the factors which contribute to the level of self-evaluation amongst teachers.

The results are as follows :

1. Eight factors determine self-evaluation : (a) classroom atmosphere ; (b) teacher attitudes, skills and techniques ; (c) teaching theories ; (d) creating a successful class between teacher and students ; (e) the understanding of physical education ; (f) leadership ; (g) improvement in the student's skills ; (h) positive mental attitude in the class.
2. Self-evaluation for male P. E. teachers regarding movement skills, leadership, recognizing the value of physical education and teaching skills is higher than women teachers' self-evaluation.
3. For teachers in their twenties self-evaluation about the understanding of students, leadership, teaching skills, teacher behavior and teaching of P. E. theory is lower than for older teachers.
4. Experience of teaching clubs increases self-evaluation about recognizing the value of physical education, teaching skills and teaching materials.
5. Experience of participating in sports increases self-evaluation about movement skills and the teaching of P. E. theory.

Key words : physical education, self-evaluation, elementary school

I. 緒 言

体育科教育は、人間と運動との関係を問題とするところにその特徴があり、今日では、従来の運動手段論としての体育から、運動内容論としての体育へと転換してきている¹⁾。また、指導要領の改訂により、生涯スポーツの基礎を培う教育の実現を目指し、学習者一人ひとりが生涯にわたって運動に親しんでいく態度の育成と、学習者一人ひとりの課題に向けて、個に応じた指導の充実と実践が強く望まれている²⁾。

体育の授業構成内容は、教師、学習者、学習目標、学習教材、施設・用具、学習過程、学習集団、コミュニケーション過程、学習計画、評価方法など、様々の要因があげられ、そのどれもが研究の対象とされている³⁾⁴⁾。

筆者らは、運動技術の指導における指導言葉⁵⁾の検討などにより、教授者の力量が、学習者の学

* 熊本大学教育学部附属小学校講師

習効果と深く関係する知見を得た。より良い授業における教師の専門的力は、技能に優れているだけでなく、体育に関する知識・技能を持つことだけでなく、体育に関する原則や法則を知ることであり⁶⁾、また、体育授業の良し悪しは、体育の授業でねらいとしたことが、どれほど実現されたかによって評価されるべきであろう。そのためには、教授者の教育論、指導論、技術論や人格論といった教師側の個性が大きく影響するといえよう⁶⁾⁷⁾。

本研究は、授業構成条件のうち教授者に係る内容を中心におき、よい体育授業の構造⁸⁾、教師の力量形成に影響を与える校内体制⁹⁾、などを中心文献とし(体育科教育、学校体育などの月刊誌を附加)、体育授業についての教師の力量について質問項目を作成した。

その質問項目を熊本県内の小学校教師を対象にアンケート調査を実施した。その結果いくつかの知見を得たので報告する。

II. 研究方法

1. 調査対象と調査方法

熊本県内の小学校 16 校を無作為に抽出し、小学校教師 286 名を対象としてアンケート調査を行った。その結果、140 名(男性教師 77 名、女性教師 63 名)の有効回答を得た。有効回収率は 49.0%であった。分析対象者の年齢、教職歴の内訳は表 1、表 2 のとおりである。

2. 調査期間

1993 年 11 月 - 12 月の間である。

3. 調査内容

1) 基本的属性

対象者の基本的属性として、(1) 性別、(2) 年齢、(3) 卒業学部・学科、(4) 教職歴、(5)

表 1. 調査対象者の年齢構成

年齢(歳)	男(人)	女(人)
～25	10	14
26～29	21	18
30～35	21	15
36～39	19	9
40～45	5	1
45～49	1	1
50～55	0	4
50～59	0	1
60～	0	0
無記不名	0	0
小計	77	63
計	140	

表 2. 調査対象者の教職歴

教職歴(年)	男(人)	女(人)
0～3	17	18
4～6	19	10
7～9	9	9
10～12	10	7
13～15	14	10
16～18	4	3
19～21	3	0
22～	1	5
無記不明	0	1
小計	77	63
計	140	

担当学年経験（年数），（6）部活動指導経験，（7）教師自身のスポーツ経験の項目について調査し，（1），（2），（4），（6），（7）については，クロス集計のカテゴリーとして用いた。

2) 教師の自己評価

体育授業における自己評価のための項目として，授業研究に関する論文および聞き取り調査を基に 135 問の質問項目を設定し，4 段階尺度法により回答を得た。

4. 分析方法

分析を行う際，質問項目に回答が不十分な項目や不明瞭な項目があったため，135 項目から 108 項目に整理した。その 108 の質問項目の相関を求め，因子分析（主因子分析，Varimax 回転）を行った。また，因子分析の結果を基に，対象者の基本的属性（1），（2），（4），（6），（7）の 5 つのカテゴリーでクロス集計を行い，各質問項目間の平均値の差の検定（T 検定）を行った。

III. 結果及び考察

1. 因子分析による項目の集約について

108 の質問項目について，8 因子まで因子分析を行い，因子負荷量 0.45 以上を示した 77 項目を取り上げた。寄与率は 51.2%であった。その結果は，以下のとおりである。（表 3）

・第 1 因子－授業の雰囲気（4 項目）

計画性，明るい雰囲気，積極的な児童との関わり等の項目から，授業の雰囲気に関する因子とまとめられる。

・第 2 因子－教師自身の姿勢・スキル・テクニク（13 項目）

教師がバックグラウンドとして知っていたほうが良いと思われる情報（児童の個人的特徴，家庭環境等），スキル・テクニク（報酬の与え方，運動技術を工夫する力等）及び教師の姿勢（児童の言うことをよく聞く，明るさ，よい姿勢等）の 13 項目から成る。

・第 3 因子－教師の指導観（7 項目）

身体的発達への考慮，信頼関係，自己教授型，問題解決型等の指導に関わる項目から成る。

・第 4 因子－教師－児童の創造的授業（21 項目）

集団をまとめる力，民主的な授業，個性にあった授業，個人的要求の把握，励まし，体育授業を楽しむ，児童の情緒的解放，児童への発問等，教師側からの一方的な押し付けの授業ではなく，児童が伸び伸びと活動できるための項目から成る。

・第 5 因子－体育に対する教師の取り組み（5 項目）

授業への熱意，体育の価値等，教師の取り組み方に関する項目から成る。

・第 6 因子－リーダーシップ的能力（5 項目）

リーダーシップに関する項目から成る。

・第 7 因子－児童の技能向上（3 項目）

児童の技能向上に関わる 3 項目から成る。

・第 8 因子－授業に関する教師の心構え（19 項目）

授業計画（学習従事時間の確保，地域とつながりのある教材）やマネジメント（学習の規律），教師行動（直接的指導，肯定的な非言語的行動，能力の低い児童への関わり，フィードバック），教師の体育観（運動の喜び，研修会・研究会への参加）等の項目から成る。

表 3. 教師の自己評価に関する因子分析

質問項目	F 1	F 2	F 3	F 4	F 5	F 6	F 7	F 8
99) 性格は計画的ですか	0.64	-0.11	-0.10	-0.12	-0.06	0.05	0.01	-0.24
92) 授業はどちらかといえば個人学習型ですか	0.60	0.06	0.08	0.08	0.01	0.04	-0.04	-0.05
2) 授業の雰囲気は明るいですか	0.46	-0.16	-0.19	-0.16	-0.12	0.26	-0.07	-0.22
3) 児童に積極的に関わっていますか	0.45	-0.20	-0.04	-0.19	0.09	0.17	-0.00	-0.19
74) 授業はどちらかといえばペア学習型ですか	0.05	-0.64	-0.11	0.01	0.24	0.10	0.17	-0.27
83) 教師を擁護する児童を知っていますか	0.32	-0.64	-0.02	-0.25	0.15	0.00	-0.11	-0.07
78) 権限を上手く与えることができますか	-0.01	-0.62	-0.09	0.00	0.25	-0.08	0.23	-0.17
51) 運動技術を工夫する力がありますか	0.16	-0.57	-0.00	-0.33	0.04	0.13	-0.08	-0.30
87) 児童の個人的特徴について理解していますか	0.08	-0.56	-0.10	-0.35	0.06	0.04	-0.04	-0.09
82) 児童はよく言うことを聞いて行動しますか	-0.27	-0.53	-0.16	-0.31	0.13	0.25	0.03	-0.10
93) 体育の授業を通じてマナーを身に付けさせていますか	0.12	-0.53	-0.16	-0.31	0.13	0.42	-0.05	-0.01
69) 基本的な運動技術を待っていますか	-0.19	-0.52	-0.03	-0.23	0.12	-0.04	-0.11	-0.24
86) 児童の家庭環境について理解していますか	0.32	-0.51	-0.02	-0.25	0.16	-0.01	-0.16	-0.17
58) 性格は明るいですか	0.18	-0.49	0.19	-0.33	0.28	-0.01	0.08	-0.35
55) 姿勢がよいですか	0.21	-0.47	-0.06	-0.24	0.03	0.14	0.10	-0.13
61) 精神力は強いですか	0.33	-0.47	-0.14	-0.12	0.09	0.17	0.06	-0.13
94) 友達同士の教え合いを助めていますか	0.15	-0.47	-0.22	-0.14	0.12	0.13	0.16	-0.43
111) 児童の身体的発達を考慮した指導を行っていますか	-0.11	0.11	0.64	0.12	0.05	0.06	0.42	0.06
80) 児童との信頼関係は成立していると思えますか	0.05	0.18	0.59	0.19	0.05	-0.12	0.29	-0.03
112) 授業はどちらかといえば自己教授型ですか	-0.01	-0.06	-0.54	-0.09	-0.00	0.38	0.13	-0.16
127) 授業はどちらかといえば問題解決型ですか	0.14	0.19	0.54	0.06	-0.01	-0.01	0.44	-0.02
115) 生涯学習を意識して指導を行っていますか	0.11	-0.12	0.52	-0.17	0.11	0.37	0.13	-0.35
125) 御自分の指導に満足していますか	0.10	0.10	0.50	-0.04	-0.07	0.14	0.06	0.03
21) 児童の適性を見抜く力がありますか	0.06	0.16	-0.46	-0.24	0.09	0.02	-0.22	0.01
13) 児童の集団をまとめる力がありますか	0.09	-0.25	-0.10	-0.67	0.09	-0.08	0.14	-0.10
28) 授業はどちらかといえば民主型ですか	-0.11	-0.05	0.03	-0.66	0.16	0.12	-0.05	-0.29
50) 個性にあった指導を行っていますか	-0.07	-0.16	0.05	-0.61	0.18	-0.16	-0.16	-0.43
63) 授業はどちらかといえば教師主導型ですか	0.23	-0.40	-0.04	-0.61	0.16	-0.07	0.03	-0.22
66) 特技として何か1つ以上出来るスポーツがありますか	0.14	-0.19	-0.28	-0.60	0.06	0.02	0.14	-0.02
9) 児童の個人的要求を適切に把握していますか	0.10	-0.05	-0.15	-0.58	0.08	0.15	-0.14	-0.15
49) 体力がありますか	-0.11	-0.21	0.16	-0.57	0.18	-0.02	-0.03	-0.44
62) 運動技術を開発する力を持っていますか	0.06	-0.26	-0.05	-0.57	0.21	0.19	-0.10	-0.35
10) 教材を広い視野(系統性など)から考えていますか	0.02	-0.01	-0.11	-0.56	0.07	0.22	-0.06	-0.35
29) 励ましを頻りに行っていますか	-0.04	-0.01	0.01	-0.56	-0.14	0.37	0.06	-0.11
56) 授業はどちらかといえば放任型ですか	0.05	-0.13	-0.34	-0.56	0.15	0.03	-0.06	-0.11
18) 必要に応じて児童に毅然たる態度を取ることが出来ますか	0.09	-0.37	-0.20	-0.55	-0.08	0.05	-0.05	0.07
31) 児童の潜在的開故がみられますか	-0.02	-0.13	-0.15	-0.55	-0.05	0.17	0.11	-0.31
6) あなたは体育の授業を楽しんでいますか	0.21	-0.15	0.18	-0.54	0.08	0.09	-0.12	-0.16

8) 児童の個人的な悩みを適切に把握していますか	-0.02	-0.07	-0.18	-0.53	0.02	0.10	-0.01	0.01
126) 体育の授業の中心を「知識理解」と考えていますか	-0.11	0.04	-0.03	-0.53	0.27	0.09	0.04	-0.42
17) 授業はどちらかといえば専制型ですか	0.17	-0.19	-0.29	-0.52	0.01	-0.03	0.25	-0.25
79) 授業はどちらかといえば規律型ですか	0.01	-0.49	-0.10	-0.50	0.24	-0.14	-0.14	-0.11
25) 児童への発問が多いですか	0.05	-0.15	0.14	-0.49	0.20	0.03	-0.10	-0.46
46) 健康ですか	0.07	-0.16	-0.00	-0.49	0.39	-0.11	0.14	-0.32
106) 児童からの体育授業に関する評価に耳を傾けていますか	0.18	-0.16	-0.04	-0.46	0.03	0.06	0.12	-0.04
77) 授業に対する熱意はありますか	-0.01	-0.15	0.03	-0.08	0.82	0.13	-0.03	-0.08
81) 体育は教科の中で価値のある教科の1つと考えていますか	0.12	-0.07	-0.05	0.02	0.81	0.11	-0.04	-0.09
59) 社交的ですか	0.23	-0.15	0.14	-0.15	0.63	0.12	-0.09	-0.12
90) 授業はどちらかといえば一言指導ですか	-0.04	-0.23	-0.21	0.03	0.57	0.15	0.30	-0.13
85) 授業はどちらかといえば自己チェック型ですか	0.04	-0.22	-0.05	-0.28	0.56	0.00	0.01	0.18
75) マイペース型ですか	0.22	-0.32	-0.00	-0.08	0.19	0.57	0.05	-0.03
54) 教師の中でもリーダーシップがありますか	0.14	-0.39	-0.05	-0.16	0.11	0.56	-0.10	-0.15
84) 児童同士の友人関係について理解していますか	-0.05	0.10	-0.07	-0.03	-0.02	0.52	-0.13	0.12
76) 性格は活動型ですか	0.13	-0.49	-0.10	-0.16	0.27	0.48	-0.02	-0.01
30) 児童に補助をよく行っていますか	-0.00	-0.18	-0.04	-0.33	0.05	0.45	0.14	-0.26
96) 体育授業の中心を「技能向上」と考えていますか	-0.11	-0.00	-0.03	0.04	-0.02	0.10	-0.73	0.04
117) 教材の細分化をしていますか	-0.07	-0.10	0.15	-0.07	0.09	-0.09	0.50	0.01
129) 個人学習ノートを用いますか	-0.09	0.13	0.16	0.10	0.07	-0.06	0.47	-0.05
16) 学習従事時間が確保されていますか	0.16	-0.35	0.10	-0.19	0.02	-0.13	-0.10	-0.65
43) 友人が多いですか	0.02	-0.17	-0.08	-0.09	-0.10	0.02	0.06	-0.62
47) 責任感が強いですか	0.16	-0.06	0.04	-0.34	-0.00	0.35	-0.02	-0.60
41) 日常の行動が機敏ですか	-0.12	-0.02	-0.25	-0.16	0.02	0.14	0.03	-0.57
23) 指示・指示といった直接的指導状況に応じて行っていますか	-0.07	-0.30	0.15	-0.24	0.07	-0.08	0.07	-0.55
98) 体育授業の中心を「運動の喜び」と考えていますか	0.31	-0.15	-0.10	-0.02	0.19	0.18	-0.14	-0.55
100) 状況に応じて「役割」させることを行っていますか	0.24	-0.11	-0.05	-0.05	-0.00	-0.09	0.06	-0.55
124) 児童に体罰をさせることが多いですか	0.02	-0.08	-0.46	-0.04	0.26	-0.04	-0.04	-0.55
15) 研究会や研究会によく参加しますか	0.22	-0.31	0.02	-0.35	0.01	-0.10	-0.10	-0.53
22) 全体や集団への関わりだけでなく個々の児童への関わりが多いですか	0.35	-0.14	-0.03	-0.05	-0.18	0.17	0.17	-0.53
38) 児童と肯定的な相互関係が成立していますか	0.20	0.05	-0.14	-0.17	0.13	-0.43	0.07	-0.53
40) 観察能力が優れていますか	-0.02	-0.00	-0.18	-0.26	-0.03	0.35	-0.01	-0.52
116) 地域とつながるのある教材を取り入れていますか	0.30	-0.09	-0.24	-0.11	0.05	0.13	0.13	-0.52
112) うなずきなど非言語的行動が肯定的になるように心掛けていますか	0.36	-0.05	-0.26	-0.03	0.16	0.12	0.12	-0.51
44) 自尊心が強いですか	0.02	-0.31	0.07	-0.13	0.03	0.01	0.12	-0.50
123) 能力の低い児童への関わりが多いですか	0.19	0.05	-0.39	-0.14	0.14	0.17	0.09	-0.48
4) 学習の規律が確立されていますか	0.10	-0.15	-0.02	-0.18	-0.05	-0.16	0.21	-0.47
27) フィードバックを頻繁に行いますか	0.29	-0.21	-0.02	-0.20	-0.13	-0.04	0.24	-0.47
24) 児童の思考を刺激し、発展させる力がありますか	0.07	-0.26	0.08	-0.44	0.13	-0.08	-0.08	-0.45

[寄与率] 5.24 7.77 4.80 10.40 4.65 4.84 3.35 10.14

高橋は授業を基礎的条件と内容的条件の二重構造で示しており、基礎的条件とは、授業の目標・内容、方法の考え方や形式に関係なく、すべての授業に要求され、「授業のマネージメント」「学習の規律」「授業の雰囲気」など、体育の授業を円滑に進めるための条件としている。またこれは、広い空間で活発な身体活動をともなっておこなわれる体育の授業では、他の教室で行われる授業以上に強く授業成果に影響し、「運動の楽しさ」「精一杯の運動」「助け合いによる喜び」といった情意目標に関わった児童の授業評価と強く関係している¹⁰⁾。本研究の因子分析の結果、第1因子（授業の雰囲気）、第4因子（教師－児童の創造的授業）、第6因子（リーダーシップ的能力）、第8因子（授業に対する教師の心構え）が基礎的条件と関わると考える。

内容的条件は、基礎的条件の上に発揮されるものであり、具体的には、どのような授業の目標内容が設定されたのか、どのような教材や教具が工夫されたのか、どのような学習過程や学習形態が適用されたのか、どのような説明・演示・発問・指導言葉が計画され適用されたのかといった事柄であり、技能向上や知識理解といった体育の目標の実現に深く関係するとされる¹¹⁾。この内容的条件に関連する因子として、第2因子（教師自身の姿勢・スキル・テクニック）、第3因子（教師の指導観）、第7因子（児童の技能向上）、第8因子（授業に関する教師の心構え）が挙げられ、第8因子は両方の条件に絡んでいるといえる。

2. 体育授業における自己評価について

1) 性別による各項目の平均値の差の検定

性別により1%水準での有為な差がみられた項目（表4）は、運動技術の工夫、基本的な運動技術（第2因子）、生涯学習を意識した指導（第3因子）、集団をまとめる力、得意なスポーツ、運動技術を開発する力、教材の系統性、毅然とした態度、体育の授業を楽しむ（第4因子）、直接的指導、研修会・研究会への参加、フィードバックを行う（第8因子）であった。

また、5%水準で有意差がみられた項目は、身体的発達を考慮した指導（第3因子）、個性に合った指導、児童の個人的要求（第4因子）、授業に対する熱意、体育の価値（第5因子）、リーダーシップ、活動的な性格（第6因子）、行動が機敏、地域とのつながりのある教材、勝利感（第8因子）であり、すべての項目において男性教師の値が女性教師に比べ高かった。

性別による自己評価では、女性教師は男性教師に比べ、運動技術に関して苦手意識を持っており、集団をまとめる力、毅然とした態度、リーダーシップ等の統率力に関しても評価が低い。また、体育の授業を楽しむ、授業に対する熱意、体育の価値等の体育の価値志向性に関する項目や、フィードバックを行う、教材の系統性、研修会・研究会への参加等の指導や教材に関する項目についても差がみられた。

運動技能の優劣が体育指導のよし悪しに直接関わるとは言えないが、教師の体育に対する愛好度や取り組み姿勢、情熱は授業のよし悪しに強く関わってくる。高橋が述べているように、教師の授業に対する情熱が授業への周到的計画や授業中の情熱的な指導行動を生み出すのであり¹²⁾、女性教師の体育への愛好度や価値志向性の向上が望まれる。

2) 年齢による各項目の平均値の差の検定

年齢を20代、30代、40代以上の3段階に分類し、各項目の平均値の差の検定を行った。（表5）

20代の教師が30代、40代以上の教師に比べ、平均値が有意に低い値を示した項目は、計画的な性格（第1因子）、児童が言うことをよく聞く、児童の家庭環境の理解（第2因子）、身体的発達を考慮した指導、問題解決型の授業、自分の指導に満足（第3因子）、教材の細分化（第7因

表4. 性別による各項目の平均値の差の検定

	質 問 項 目	各 性 別 の 平 均 値	有 意 差
F 2	51) 運動技術を工夫する力がありますか	男性教師 2.82	男>女 [* *]
		女性教師 2.37	
	69) 基本的な運動技術を持っていますか	男性教師 2.89	男>女 [* *]
		女性教師 2.47	
F 3	111) 児童の身体的発達を考慮した指導を行っていますか	男性教師 3.12	男>女 [*]
		女性教師 2.86	
	115) 生涯学習を応用して指導を行っていますか	男性教師 2.88	男>女 [* *]
		女性教師 2.40	
F 4	13) 児童の集団をまとめる力がありますか	男性教師 3.16	男>女 [* *]
		女性教師 2.80	
	50) 個性にあった指導を行っていますか	男性教師 2.90	男>女 [*]
		女性教師 2.66	
	66) 特技として何か1つ以上出来るスポーツがありますか	男性教師 3.29	男>女 [* *]
		女性教師 2.63	
	9) 児童の個人的要求を適切に把握していますか	男性教師 2.70	男>女 [*]
		女性教師 2.48	
	62) 運動技術を開発する力を持っていますか	男性教師 2.53	男>女 [* *]
		女性教師 2.03	
	10) 教材を広い視野(系統性など)から考えていますか	男性教師 2.89	男>女 [* *]
		女性教師 2.31	
18) 必要に応じて児童に適切な態度を取ることが出来ますか	男性教師 3.68	男>女 [* *]	
	女性教師 3.39		
6) あなたは体育の授業を楽しんでいますか	男性教師 3.43	男>女 [* *]	
	女性教師 3.02		
F 5	77) 授業に対する熱意がありますか	男性教師 3.25	男>女 [*]
		女性教師 3.02	
	81) 体育は教科の中で価値のある教科の1つと考えていますか	男性教師 3.60	男>女 [*]
		女性教師 3.74	
F 6	54) 教師の中でもリーダーシップがありますか	男性教師 2.49	男>女 [*]
		女性教師 2.02	
	76) 性格は活動型ですか	男性教師 2.93	男>女 [*]
		女性教師 2.63	
F 8	41) 日常の行動が積極的ですか	男性教師 2.88	男>女 [*]
		女性教師 2.58	
	23) 指示・指示といった直接的指導必要に応じて行っていますか	男性教師 3.34	男>女 [* *]
		女性教師 3.02	
F 8	15) 研修会や研究会によく参加しますか	男性教師 2.57	男>女 [* *]
		女性教師 1.98	
	116) 地域とのつながりのある教材を取り入れていますか	男性教師 2.11	男>女 [*]
		女性教師 2.85	
44) 使命感が強いですか	男性教師 2.92	男>女 [*]	
	女性教師 2.06		
27) フィードバックを頻繁に行いますか	男性教師 2.72	男>女 [* *]	
	女性教師 2.38		

[* *] ……1%有意 [*] ……5%有意

表5. 年齢による各項目の平均値の差の検定

項目	各年代別の平均値	有意差
F 1	99) 性差は計画的でか 20代 2.78 30代 3.24 40代以上 3.46	20代<30代[* *] 20代<40代[* *]
	87) 児童の個人別出席について理解していますか 20代 3.13 40代以上 3.50	20代<40代[* *]
	82) 児童はよく言うことを聞いて行動しますか 20代 2.93 30代 3.40 40代以上 3.00	20代<30代[* *] 30代>40代[* *]
F 2	93) 屏風の授業を通じてマナーを身に付けさせていますか 20代 3.20 30代 3.46 40代以上 3.32	20代<30代[* *] 20代<40代[* *]
	86) 児童の家庭環境について理解していますか 20代 2.88 30代 3.21 40代以上 3.32	20代<30代[* *] 20代<40代[* *]
	58) 性差は小さいですか 20代 3.21 30代 2.82 40代以上 2.92	20代>30代[* *] 20代<40代[* *]
F 3	111) 児童の身体的発達を考慮した指導を行っていますか 20代 3.17 30代 3.43 40代以上 3.48	20代<30代[* *] 20代<40代[* *]
	127) 授業はどちらかといえば問題解決型ですか 20代 2.73 30代 3.06 40代以上 3.14	20代<30代[* *] 20代<40代[* *]
	115) 生涯学習を意識して指導を行っていますか 20代 2.95 30代 3.33 40代以上 2.71	20代<30代[* *] 20代<30代[* *] 20代<40代[* *]
F 4	125) 前自身の指導に満足していますか 20代 1.98 30代 2.37 40代以上 2.71	20代<30代[* *] 20代<40代[* *]
	21) 児童の個性を見抜く力がありますか 20代 2.58 30代 2.86 40代以上 2.79	20代<30代[* *] 20代<30代[* *]
	13) 児童の集団をまとめる力がありますか 20代 2.79 30代 3.22 40代以上 2.45	20代<30代[* *] 20代<30代[* *] 20代>40代[* *]
F 5	66) 借財として何か1つ以上出来るスポーツがありますか 20代 3.10 30代 3.17 40代以上 3.44	20代<30代[* *] 20代<30代[* *] 20代<30代[* *]
	46) 健康ですか 20代 3.03 30代 2.65 40代以上 2.82	20代>30代[* *] 20代>30代[* *] 20代>40代[* *]
F 6	54) 児童の中でもリーダーシップがありますか 20代 2.08 30代 2.45 40代以上 2.30	20代<30代[* *] 20代<30代[* *] 20代>40代[* *]
	117) 教材の細分化をしていますか 20代 2.48 30代 2.77 40代以上 3.23	20代<40代[* *] 30代<40代[* *]
F 7	100) 異級に応じて「異級」させることを行っていますか 20代 3.17 30代 3.64 40代以上 3.28	20代<40代[* *] 20代<30代[* *] 20代<30代[* *]
	40) 図画能力が衰えていますか 20代 2.28 30代 2.71 40代以上 2.67	20代<30代[* *] 20代<40代[* *] 20代<40代[* *]
	122) うなずきなど非言語的行動が肯定的になるように心がけていますか 20代 2.90 30代 3.21 40代以上 3.44	20代<30代[* *] 20代<40代[* *] 20代<40代[* *]
F 8	24) 児童の思考を刺激し、発展させる力がありますか 20代 2.31 30代 2.58	20代<30代[* *] 20代<30代[* *]

[* *]・・・1%有意 [*]・・・5%有意

子), 観察能力, 肯定的な非言語的行動 (第 8 因子) の 9 項目であった。

20 代の教師が 40 代の教師に比べ低い値を示したのは, 個人的特徴の理解, よい姿勢 (第 2 因子), 我慢させること, (第 8 因子) の 3 項目であり, 30 代の教師に比べ低い値を示したのは, マナーを身に付けさせる (第 2 因子), 生涯学習を意識した指導, 児童の適性を見抜く (第 3 因子), 集団をまとめる (第 4 因子), リーダーシップ (第 6 因子), 児童の思考の発展 (第 8 因子) の 6 項目であった。

反対に 20 代の教師が 30 代の教師に比べ高い値を示したのは, 明るい性格 (第 2 因子), 健康である (第 4 因子), 社交的 (第 5 因子) の 3 項目であり, 20 代の教師が 40 代の教師に比べ高い値を示した項目は, 得意なスポーツ (第 4 因子), マイペース型 (第 6 因子) であった。

今回の調査では, 20 代の教師と 30 代, 40 代以上の教師の間に自己評価に差がみられた。30 代, 40 代以上の教師は, 20 代の教師に比べ, 児童の理解に関する項目 (身体的発達への考慮, 個人的特徴の理解, 児童の適性を見抜く等), 統率力 (児童が言うことをよく聞く, 集団をまとめる力, リーダーシップ等), 指導技術, 教師行動 (教材の細分化, 観察能力, 肯定的な非言語的行動), 認識面の指導 (問題解決型の授業, 思考の発展等) の項目において高い値を示した。これらの能力の獲得には, ある程度の経験が必要であると考えられる。

また, 20 代の教師が高い値を示したのは, 明るい性格, 健康, 得意なスポーツ等のはつらつとした若さを感じさせる項目とマイペースの項目であった。

表 6. 教職歴による各項目の平均値の差の検定

因子	項目	教職歴別の平均値	有意差
F 1	99) 性格は計画的ですか	0年~12年	2.46
		13年以上	3.10
F 3	125) 自分への指導に満足していますか	0年~12年	1.78
		13年以上	2.09
F 4	13) 児童の集団をまとめる力がありますか	0年~12年	2.92
		13年以上	3.24
F 4	62) 運動技術を開発する力を持っていますか	0年~12年	2.25
		13年以上	2.59
F 6	75) マイペース型ですか	0年~12年	2.83
		13年以上	2.29
F 6	54) 教師の中でもリーダーシップがありますか	0年~12年	2.21
		13年以上	2.55
F 7	129) 個人学習ノートを使いますか	0年~12年	2.49
		13年以上	2.03
F 7	40) 観察能力が優れていますか	0年~12年	2.44
		13年以上	2.74
F 8	122) うなずきなど非言語的行動が肯定的になるように心掛けていますか	0年~12年	2.78
		13年以上	3.23
F 8	24) 児童の思考を刺激し, 発展させる力がありますか	0年~12年	2.37
		13年以上	2.72

[※※]・・・1%有意 [※]・・・5%有意

※ 0年~12年・若 13年以上・ベテラン

3) 教職歴による各項目の平均値の差の検定

教職歴を0～12年と13年以上の二つに分け、各質問項目の平均値の差の検定を行った。(表6)

1%水準で教職歴が長い者の平均値が高かった項目は、計画的な性格(第1因子)、肯定的な非言語的行動、児童の思考の発展(第8因子)であり、反対に教職歴が短いものの値が高かった項目は、マイペース(第6因子)、個人学習ノートの使用(第7因子)であった。

5%水準で差の見られた項目は、指導に満足(第3因子)、集団をまとめる力、運動技術を開発する力(第4因子)、リーダーシップ(第6因子)、観察能力(第8因子)の5項目において教職歴が長いものの値が高い。

教職歴による比較においても、年齢別による比較とほぼ同様の傾向がみられた。

4) 部活動指導経験の有無による各項目の平均値の差の検定

教職についてから部活動の指導経験がある教師とない教師について、各質問項目の平均値の差

表7. 部活動指導経験による各項目の平均値の差の検定

質問項目	部活動指導経験の有無	部活動指導経験の平均値	有意差
F 2	51) 運動技術を工夫する力がありますか	有 2.69	有>無 [*]
	無 2.29		
	69) 基本的な運動技術を持っていますか	有 2.78	有>無 [*]
	無 2.39		
F 3	127) 授業はどちらかといえば問題解決型ですか	有 2.68	有>無 [*]
	無 2.29		
	115) 生涯学習を意識した指導を行っていますか	有 2.81	有>無 [**]
	無 2.12		
F 4	63) 授業はどちらかといえば教師主導型ですか	有 2.48	有<無 [*]
	無 2.83		
	66) 特技として何か1つ以上できるスポーツがありますか	有 3.18	有>無 [**]
	無 2.20		
	10) 教材を深い視野から考えていますか	有 2.68	有>無 [*]
	無 2.35		
F 5	6) あなたは体育の授業を楽しんでいますか	有 3.34	有>無 [**]
	無 2.88		
	90) 授業はどちらかといえば一斉指導ですか	有 2.65	有<無 [*]
	無 3.00		
F 7	129) 個人学習ノートを取りますか	有 2.48	有>無 [**]
	124) 児童に体罰をすることが多いですか	有 2.91	有<無 [*]
	無 3.22		
F 8	15) 研修会や研究会によく参加していますか	有 2.43	有>無 [*]
	無 1.88		
	116) 地域とつながりのある教材を取り入れていますか	有 2.03	有>無 [*]
	無 1.67		
	27) フィードバックを頻密に行いますか	有 2.64	有>無 [**]
	無 2.24		

[**]・・・1%有意 [*]・・・5%有意

の検定を行った。(表7)今回の調査では、調査対象者の78.6%が何らかの形で部活動指導を経験している。

1%水準で差の見られた項目は、生涯学習を意識した指導(第3因子)、得意なスポーツ、体育授業を楽しむ(第4因子)、個人学習ノートの使用(第7因子)、フィードバックを行う(第8因子)の4項目で部活動指導経験者の値が高かった。

5%水準で部活動指導経験者の平均値の値が高かった項目は、運動技術の工夫、基本的な運動技術(第2因子)、問題解決型の授業(第3因子)、教材の系統性(第4因子)、研修会・研究会への参加、地域とつながりのある教材(第8因子)であった。反対に、部活動指導経験のない者が高かった項目は、教師主導型の授業(第4因子)、一斉指導(第5因子)、児童に師範させる(第8因子)の3項目であった。

部活動指導経験者は、体育授業やスポーツへの愛好的態度を示す項目(生涯学習を意識、得意なスポーツ、体育授業を楽しむ)や、指導の工夫や教材研究に関する多くの項目(個人学習ノート、フィードバック、教材の系統性、研修会・研究会への参加等)に高い値を示した。反対に、指導経験のない教師は、教師主導の一斉指導を行っている傾向がみられた。今回の調査においては、部活動の指導経験が、体育授業における指導の工夫や教材研究にプラスの面で働いていることが考えられる。

5) 教師自身のスポーツ経験による各項目の平均値の差の検定

スポーツ経験のある教師とスポーツ経験のない教師について、各質問項目の平均値の差の検定を行った。(表8)

1%水準で差の見られた項目は、基本的な運動技術(第2因子)、生涯学習を意識した指導(第3因子)、得意なスポーツ(第4因子)、活動的な性格(第6因子)であり、5%水準で差がみられた項目は、体育授業を楽しむ、知識理解を中心とする授業(第4因子)、個人学習ノートの使用(第7因子)の3項目で、すべての項目において、スポーツ経験のある教師が高い値を示した。

表8. 教師自身のスポーツ経験による各項目の平均値の差の検定

質問項目	スポーツ経験者の平均値	有意差
F 2 69) 基本的な運動技術を持っていますか	有 2.80	有>無 [**]
	無 2.36	
F 3 115) 生涯学習を意識して指導を行っていますか	有 2.80	有>無 [**]
	無 2.21	
66) 特技として何か1つ以上出来るスポーツがありますか	有 3.19	有>無 [**]
	無 2.22	
F 4 6) あなたは体育の授業を楽しんでいますか	有 3.33	有>無 [*]
	無 3.00	
126) 体育授業の中心を「知識理解」と考えていますか	有 1.88	有>無 [*]
	無 1.59	
F 6 76) 性格は活動型ですか	有 2.89	有>無 [**]
	無 2.42	
F 7 129) 個人学習ノートを使っていますか	有 2.44	有>無 [*]
	無 2.00	

[**]・・・1%有意 [*]・・・5%有意

スポーツ経験のある教師は、技術的な面（基本的な運動技術、得意なスポーツ）はもちろん、認識面の指導（生涯学習を意識、知識理解を中心とする授業等）においても自己評価が高くなっている。

体育への価値志向性や愛好的態度に、性別及び部活動指導経験の有無によって差がみられたが、これは体育授業を行う上での前提要因とも言えるもので、間接的に授業の各要因に影響し、授業場面の学習行動に反映してくる¹³⁾。女性教師及び指導未経験者の体育に対する意識の向上をはかることが望まれる。

指導技術に関して、男性、30代以上、部活動指導経験者の自己評価が高くなっており、運動指導の場面が増えるほど、指導の工夫や幅が広がったり、研修会・研究会への参加等の積極的な教師の姿勢がみられる。

運動技術に関しては、男性及びスポーツ経験のある教師の自己評価が高く、自分自身の運動経験が自信につながっているようである。

また、統率力に関して、男性及び30代以上の教師の自己評価が高いが、これは授業のマネジメントに関連する。体育の授業においては、学習の規律が保たれ、マネジメント場面や行動が少なく、体育的な学習場面や行動が多く確保されることが¹⁴⁾、よい授業に直接関わってくる。

IV. 結 論

熊本県内の小学校教師を対象に、体育授業における自己評価についてアンケート調査を行い、以下に示される結果を得た。

- 1) 体育授業の教師自身の自己評価について因子分析を行った結果、「授業の雰囲気」「教師自身の姿勢・スキル・テクニック」「教師の指導観」「教師－児童の創造的授業」「体育に対する教師の取り組み」「リーダーシップ的能力」「児童の技能向上」「授業に対する教師の心構え」の8因子が抽出された。
- 2) 男性教師の方が女性教師に比べ、運動技術、統率力、体育への価値志向性（愛好的態度）、指導技術に関する面での自己評価が高い。
- 3) 20代の教師は30代以上の教師に比べ、児童の理解、統率力、指導技術、教師行動、認識面の指導に関する面での自己評価が低い。
- 4) 部活動指導経験者は、体育への価値志向性（愛好的態度）、指導技術、教材研究の面での自己評価が、指導経験の無い教師に比べ高い。
- 5) スポーツ経験のある教師は無い教師に比べ、運動技術及び認識面の指導に関する自己評価が高い。

引用文献

- 1) 永島惇正：体育授業と授業スタイル，学校体育，日本体育社，第46巻，12号，10-14，1993
- 2) 有園格：いまなぜ新しい学力観か，新しい学力観読本，教育開発研究所，12，63，1993
- 3) 辰野千寿：学習指導用語辞典，教育出版，65，1988

- 4) 高島稔：体育授業の構成要素，体育科教育法講義，大修館，10-13，1992
- 5) 坂下・庭木・村田：運動技術の指導における指導ことばの研究，熊本大学教育学部紀要，第41号，自然科学，69-84，1992
- 6) 浅井浅一：体育教師の学内的・社会的地位，不昧堂，11，1968
- 7) 前掲書 1)：14
- 8) 高橋健夫：よい体育授業の構造，体育科教育，大修館，第40巻，5号，17-20，1992
- 9) 日本教育学会第51回大会レポート：教師の力量形成に影響を与える校内体制，内外教育，2-3，1992
- 10) 高橋健夫：よい体育の授業構造，体育科教育，第40巻，2号，18-21，1992
- 11) 前掲書 1)
- 12) 高橋健夫：よい授業，悪い授業，体育科教育，第42巻，5号，15，1994
- 13) 前掲書 12)，15
- 14) 前掲書 12)，17

参考文献

- 1) 佐藤，坂本：体育授業計画と教授—学習プログラム，新体育社，1984
- 2) 中村敏雄：体育原理講義，体育とは何か，大修館，1987
- 3) 梶田正巳：授業を支える学習指導論，金子書房，1986
- 4) 辰野千寿：教室の心理学，教育出版，1985
- 5) 稲川三郎：授業成功の技術，学陽書房，1982
- 6) 山下剛：学習意欲の見方，導き方，教育出版，1985